

## 平成30年度行政書士試験合否判定基準

### 1 配点

試験科目	出題形式		出題数	満点
法令等	択一式	5肢択一式	40問	160点
		多肢選択式	3問	24点
	記述式		3問	60点
	計		46問	244点
一般知識等	択一式	5肢択一式	14問	56点
合計			60問	300点

(備考)問題別配点

択一式 5肢択一式 1問につき4点  
多肢選択式 1問につき8点 空欄(ア~エ)一つにつき2点  
記述式 1問につき20点

### 2 合格基準点

次の要件のいずれも満たした者を合格とする。

- (1) 行政書士の業務に関し必要な法令等科目の得点が、122点以上である者
- (2) 行政書士の業務に関連する一般知識等科目の得点が、24点以上である者
- (3) 試験全体の得点が、180点以上である者

受験者の皆様へ

平成30年度行政書士試験の「問題56」(一般知識等5肢択一問題)について、複数の正答が考えられることが判明しました。このため、受験者全員に4点を配点してあります。

試験問題に誤りがありましたことを心からお詫び申し上げます。